別記第２号様式

既存建築物実態調書既存建築物実態調書

【１　建築物の概要】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 【当　初】 | 【第１回増築等】 | 【第２回増築等】 |
| 【ア　地名地番】 |  |  |  |
| 【イ　確認済証】 | 年　月　日第　　　号 | 年　月　日第　　　号 | 年　月　日第　　　号 |
| 【ウ　工事着手年月日】 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 【エ　地域地区等】 |  |  |  |
| 【オ　用途地域】 |  |  |  |
| 【カ　建築物用途】 |  |  |  |
| 【キ　敷地面積】 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 【ク　建築面積】 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 【ケ　延床面積】 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 【コ　構造】 |  |  |  |
| 【サ　階数】 |  |  |  |
| 【シ　原動機出力数】 |  |  |  |
| 【ス　機械台数】 |  |  |  |
| 【セ　その他】 |  |  |  |

【２　不適合部分の概要】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 【不適合該当条項】 | 【不適合部分】 | 【不適合の内容】 | 【備考】 |
| 【１】 |  |  |  |  |
| 【２】 |  |  |  |  |
| 【３】 |  |  |  |  |
| 【４】 |  |  |  |  |
| 【５】 |  |  |  |  |

注　１　申請に係る建築物が複数棟ある場合は、１棟ごとに作成してください。

２　【１　建築物の概要】は、第３回目以降の増築等がある場合は、別紙に記入してください。

　　　３　【１　建築物の概要】の【エ　地域地区等】欄には、当時の地域地区等を記入し、複数ある場合は、そのすべてを記入してください。

　　　４　【１　建築物の概要】の【オ　用途地域】欄には、当時の用途地域で、敷地の過半を占める用途地域を記入してください。

　　　５　【１　建築物の概要】の【セ　その他】欄には、許認可等の適用を記入してください。

　　　６　【２　不適合部分の概要】の【不適合該当条項】欄には、法、政令若しくは省令の条項又は告示番号を記入してください。

　　　７　【２　不適合部分の概要】の【不適合部分】欄には、室名、階数、独立部分等不適合の対象となる部分を明記し、必要に応じて、別図によりその範囲を特定し、符号を付けてください。

　　　８　【２　不適合部分の概要】の【備考】欄には、７で作成した別図の符号を記入してください。